

『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

| | | 作成年月日 | 平成18年1月20日 | |
|-----------|--|---|---|------|
| | | 作成部署 | 土木建築部港湾課 | |
| 事業名 | 地方港湾宮津港 港湾侵食対策事業 | 構想番号 | | |
| | | 地区名 | 地方港湾宮津港(天橋立地区) | |
| 概算事業費 | 6.3億円 | 事業期間 | 平成11年度～平成24年度 | |
| 事業概要 | 養浜工 54,000m ³ 突堤改良工 13基 | | | |
| 関連する公共事業 | | | | |
| ガイドライン | | 施工地の環境特性と目標 | 環境配慮・環境創造のための措置内容 | 環境評価 |
| 主要な評価の視点 | | | | |
| 地球環境・自然環境 | 地球温暖化 (CO ₂ 排出量等) 地形・地質 物質循環(土砂移動) 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 など | ・天橋立は今後も侵食が続けば消滅が危惧される砂洲地形としてレッドデータブックに記載されており、地形の維持回復が必要。 ・天橋立砂浜前面に魚類の産卵・生育場となっている藻場が存在することから保全が必要。 | ・養浜工(サドバハス工法)により天橋立の保全を図る。 ・工法の採用にあたっては、藻場や生態系への影響が少ないものとする。 | |
| | 水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質 粉塵 電磁波・電波・日照 など | ・当該地域は豊かな自然を有し、総体的に優良な生活環境であり、工事の際して、大気環境等への影響の軽減が必要。 | ・現地の堆積土を利用することにより、新たな土砂採取による開発を抑制する。 | |
| | 景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行祭事 地域住民との協働 など | ・若狭湾国定公園及び特別名勝地に指定されており、美しい景観の維持・改善を目標とする。 | ・景観に配慮した工法を採用し、砂浜の保全を図り、美しい海岸線を創造する。 | |
| 地域の環境像 | 全国的に「白砂青松」で知られ、多くの人々が訪れるとともに、学術的にも貴重な文化資産であり、地元地域をはじめとして、美しい海岸を次世代に受け継ぐべく、取り組みが行われている。 | | | |
| 特記事項 | 特記事項なし | | | |

「環境評価」欄には、評価項目ごとの環境配慮の自己評価を記載する。(改善、中立、悪化×)